

令和7年3月11日

旭川市子ども・子育て審議会
会長 片桐 正敏 様

旭川市子ども・子育て審議会
旭川市こども計画策定部会
部会長 佐々木 千夏

旭川市こども計画策定部会審議結果報告書

旭川市こども計画（以下「計画」という。）の策定に当たり、旭川市こども計画策定部会（以下「部会」という。）において審議した結果について、次のとおり報告いたします。

なお、本報告は、今後旭川市が計画に基づき取組を推進していくにあたり重要と考えられる事項について、これまでの部会での審議内容を取りまとめたものであり、答申の参考としていただければ幸いです。

1 審議経過について

本部会は、令和6年9月から令和7年3月までの間に計5回の会議を開催し、市の現状や課題、国の「こども基本法」及び「こども大綱」等の方針、新たに策定を要する「市町村こども計画」の考え方等について、市からの説明を受け、これらを踏まえ、計画の基本理念、方針、施策、推進手法等について、幅広い視点から協議及び検討を重ねた結果、計画案として市から提示された最終案を了とするとともに、今後、市が当該計画を推進するに当たり、十分に考慮すべき重要事項について意見を取りまとめた。

2 総論

本部会は、令和6年9月から令和7年3月までの間に5回の会議を開催し、慎重な審議を重ねた。会議では、旭川市におけるこども・若者を取り巻く現状や課題、国の「こども基本法」及び「こども大綱」等の方針を踏まえた市町村計画策定の考え方、計画の基本理念や基本方針、施策の体系と方向性、計画の推進手法などについて、市からの提案や説明を受けつつ、幅広い視点から検討を行った。

近年、日本社会においては少子化の進行、家庭環境の多様化、価値観の変容など、こども・子育て施策に関する課題が一層複雑化している。すべてのこども・若者が安心して成

長し、自己の可能性を最大限に発揮できる環境を整備するためには、行政のみならず、家庭、地域、関係機関が緊密に連携し、多様なニーズに応じた支援を継続的に実施することが求められる。また、社会全体として、子どもや若者の意見に真摯に耳を傾け、施策の過程において主体的に関与できる仕組みを構築することも重要である。

本計画は、こうした現代社会の要請を踏まえ、すべての子ども・若者が将来にわたり、身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指すものである。その実現には、子どもや若者、子育て当事者の意見を尊重し、施策の形成過程に積極的に関与できる機会を確保するとともに、支援の充実と継続性を確保することが不可欠である。

本部会としては、本計画の基本理念のもと、子ども・若者一人ひとりの多様な価値観や個性が尊重され、自らの意思をもって活躍できる社会の実現に向け、子どもや若者、子育て当事者の視点を重視しながら、行政、地域、関係機関が緊密に連携し、着実に施策を推進していくことを強く期待する。

3 各論

(1) 子ども・若者の意見を施策に反映する仕組みの充実

「子ども大綱」においては、子どもや若者の意見を聞きながら施策を進めることが方針の一つとして掲げられている。本市においても、子ども・若者が自らの意見を表明し、それが施策に反映される仕組みの構築が求められる。本計画の策定過程においては、パブリックコメントの実施に加え、子ども版の計画を作成し、子どもが意見を述べる場の設置などが提案され、一定の取り組みが進められてきた。今後は、こうした取り組みを一層充実させ、子どもたちが主体的に施策形成に関与できる環境を整備されたい。

(2) 子育て支援に係る情報周知の強化

旭川市においては、産後ケア事業の推進や保育所の待機児童ゼロの継続、医療費助成の拡充など、多様な子育て支援施策が展開され、その充実が図られてきた。しかしながら、こうした施策の周知については、市民の間で認知度にばらつきがあることや、必要な情報が適切な対象者に届いていないなどの課題もあり、改善の余地があるものと考えられる。今後、本計画に基づき、様々な施策が進められていくこととなるが、それに当たっては、SNS や地域のネットワークを活用するなど、情報発信の手法を工夫し、多様な年代層に対して効果的に情報を届ける方策を講じるよう努められたい。

(3) 計画の着実な推進及び適切な評価の実施

本計画は、子ども・若者の健全な成長を支える重要な施策を包括するものであり、そ

の実効性を確保するためには、計画の進捗状況を定期的に検証し、必要に応じて柔軟に見直しを行うことが不可欠である。そのためには、本計画第6章に示されているとおり、毎年の取組を「事業計画」としてとりまとめ、丁寧な評価と検証を行い、改善を重ねながら、着実に取組を推進していくことが重要となる。これに当たっては、市民の意見や評価を適切に取り入れながら、本審議会を含む関係機関と緊密に連携し、より効果的な施策の推進に努められたい。

旭川市こども計画策定部会の開催経過

会議	開催年月日	議事
第1回	令和6年 9月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長、副部会長の選出について ・ これまでの経過 ・ 本市の現状 ・ 課題認識 ・ 骨子案 等
第2回	令和6年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念、基本方針について ・ 計画の施策体系について ・ 個別施策について 等
第3回	令和6年12月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の施策体系について ・ 個別施策について ・ 計画の推進について 等
第4回	令和6年12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども・子育て支援事業計画について ・ 計画の推進について 等
第5回	令和7年 3月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「旭川市こども計画(案)」に対する意見提出手続の結果について ・ 旭川市こども計画の最終案について ・ 旭川市こども計画策定部会審議結果報告書(案)について

旭川市こども計画策定部会委員名簿

氏名	推薦団体等	備考
荒木関 栄	旭川市市民委員会青少年育成部連絡協議会	
小野 直久	旭川市小学校長会	
片桐 正敏	北海道教育大学旭川校	
楠井 隆明	公益社団法人旭川民間保育所相互育成会	
小山 英明	旭川私立幼稚園協会	
佐々木 純江	公募委員	
佐々木 千夏	旭川市立大学短期大学部	部会長
中嶋 えりか	旭川産婦人科医会	
長島 史子	北海道旭川児童相談所	
長野 奈緒子	旭川小児科医会	副部会長

(五十音順 敬称略)